

素寒貧

傷ついたハードディスクは押し黙っている
僕は消えたまま

窓から静かに風が通り抜けては去る
塵に汚れたガラスの外にある壁の臭い

貧困者の唯一の暇つぶしであるネット
それを失ってしまった

新聞代程度の金さえあれば
自由に視覚と聴覚を刺戟できたのに

しかも社会的な存在が失われても
なお存在し、主張しうる世界なのに

自由、であることはどうでもいい
無料、であることが重要なのだ

ちえっ、仕方ない
いっそ部屋を引き払って
ネットカフェでも渡り歩くか

(2007.7.1)